



# ほんまもんの改革

岸本周平さんがプリンストン大学に行かれてる時にですね、たまたま出張でニューヨーク行ったんですね。そこで、じゃあ寿司でもつまもうということでお会いしました。

その時に彼からですね、家族の大切さとかびっくりするようなそういう価値観ですね。今まではどちらかというと、家族なんかかえりみないくらいパワフルに官僚をやられてたっていう、そういうイメージだったんですが、いわゆる家族は大切なんだと、こういう岸本さんのお話をうかがってですね、なんかほっとすると共に、ずいぶんアメリカの生活で変わったんだなって、そういう部分も感じました。私は彼が何かやるぞと決めたとき、とことんやりぬく人だという風に思います。ですからこれが大切だ、やっぱり国を良くするために何をやらなきゃいけないんだって、強い思いを持って、やってくれる人だと思います。政治家でやっぱり熱い思いを持ち続け、それを実現するまでとことんやりぬく人、それが岸本周平だと私は思います。

和歌山においてはローソンが大変皆さんにお世話になっております。そんな中で私が気になるのは和歌山の大変いい部分、つまり地方における文化。こういったものが大切だと思います。そういった意味ですね、和歌山の文化、よい伝統をいかに維持、発展させていくかは大変重要なことだと思います。岸本周平さんはそういったことにも大変造詣深く、みなさんの大切に、また先祖代々から続いてきた文化、伝統。こういったことを守っていつくれるんじゃないかなという風に期待をしております。岸本周平さん、ぜひ日本を

変えていっていただきたい。ぜひお願いします。私も一生懸命努力して、周平さんをサポートさせていただきます。よろしくお願いします。(談)



## 新浪剛史さん

マチのほっとステーション  
**LAWSON**

株式会社ローソン

代表取締役社長 (CEO)

1953年2月23日生まれ。

きしもと **周平**  
岸本 しゅうへい

[www.shuhei-k.jp](http://www.shuhei-k.jp)

続★著名人、岸本周平を語る！



世界的柔道家 オリンピック金メダリスト

## 山下泰裕さん

東海大学教授、柔道部監督

岸本周平さんと初めて会ったのは4年位前ですね。経済、学者、官僚、マスコミ、こういったところの30代後半40代の、日本を背負っている人たちが集まった1泊2日の勉強会でお会いしたのが最初でした。会ったときの印象は、すらっとして華奢な感じに見えるけど、骨のある、しっかりした自分なりの考え方を持った方だなと、そんな印象を持ちました。この勉強会ですぐにお互い意気投合したんですけど、私の専門は柔道、あるいはスポーツ教育。そして、周平さんは政治、あるいは経済。生きている世界は違うけれども、人生を通して目指しているものは同じなんだと、これから長く一緒に付き合っていきたいな、周平さんとの交流を通してお互いに自分自身を磨いていけたらいいなって、そんな感じを持ちました。

周平さんが政治家に立候補されるということをお聞きしまして、私も心から応援している次第ですけど、やはり豊かな発想を持って、しかも常に弱者の視点で物事を考えている。そして自分なりのしっかりした考え方、思想や哲学を持ってぶれない人間である周平さん。僕はこれからの日本にとって、周平さんみたいな人が必要であると思っています。生きている世界は違うけれども、周平さんとはこれからも人生を通して交流しながら、お互いの持てる分野で日本が少しでも明るくなっていくように、未来が開けていくように、お互いに頑張っていきたいなと思っています。周平さんと接すると、その人柄、考え方、多くの人がすぐに親しみを持ってくれると思います。そして信頼できる人物であるということ、多くの人が感じると思います。

私も一生懸命、岸本周平さんを応援しています。周平さん、頑張ってください。私も頑張ります。(談)



まっすぐ清廉政治。